



# 企業版ふるさと納税の活用



- 令和3年度から6年度まで、多くの企業様にご寄附・ご支援を賜りました
- 令和2年度から令和6年度までの事業費総額約3億円のうち、**66,450,000円**のご寄附を活用

年度	ご寄附件数	ご寄附金額
令和3年度	7件	52,400,000円
令和4年度	10件	2,050,000円
令和5年度	9件	10,700,000円
令和6年度	5件	1,300,000円



# 社会受容性向上の取り組み（R2・R3）



令和2年度から令和6年度まで**合計4回**にわたり、大滝地域の住民の方々や地域の事業者、市民に対して、本事業の取り組みを紹介するイベント（未来技術披露会）を開催してきました。

## R2年度

- 開催日程 令和3年3月18日（木） 10:30～12:00
- 開催場所 秩父市役所 大滝総合支所 構内
- 内容
  - ①事業概要の説明
  - ②トラック配車計画の自動作成およびリアルタイムモニタリングのデモ
  - ③ドローンによる飛行デモ
  - ④電動小型モビリティによる自動搬送デモ



## R3年度

- 開催日程 令和3年11月4日（木）・11月5日（金）
- 開催場所 秩父市役所 歴史文化伝承館
- 内容
  - <11月4日>
    - ①基調講演②パネルディスカッション
  - <11月5日>
    - ①ドローン機体展示②自動搬送ロボットの配送実験



# 社会受容性向上の取り組み（R5・R6）



特に令和5、6年度は、子ども達（小中学生）にも楽しめるイベントを企画し、多くの子ども達に参加してもらった。開催後のアンケートでは、**満足度が非常に高い結果**となった。

## R5年度

- 開催日程 令和5年8月19日（土）10:30～16:30
- 開催場所 ウニクス秩父 ユナイテッドシネマ前広場
- 内容

### <テーマ> 未来のしごと体験（117名が体験）

- ・ドローンパイロットなど5つの仕事から2つを選択して体験
- ・未来のしごと体験以外にも、市、ヤマト運輸、東京電力によるブース出展や早稲田大学によるモビリティの乗車体験も実施。



## R6年度

- 開催日程 令和6年9月21日（土）10:00～16:00
- 開催場所 秩父地場産センター
- 内容

### <テーマ> 未来技術に触れみよう

- ・トイドローンの操縦体験（約100名が体験）
- ・プロによるドローンレース
- ・事業パネル展示
- ・物流ドローン疑似体験やVRによるドローンシミュレーションも実施



# 事業スケジュール



- **5年間の事業。今年度は第5期「実装フェーズ」として、各種サービスの実装を開始**
- **大滝地域での秩父モデルの横展開**を目指す。

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
<p>▲【計画フェーズ】 生活交通・物流等の機能、サービスを有機的につなげていくための全体設計とニーズ調査</p>	<p>▲【計画フェーズ】 各分野別の実証実験と機能開発による個別最適化の検証と技術検証（年度初めは引き続きニーズ調査も実施）</p>	<p>▲【実証フェーズ】 各分野別の実証実験やプレサービスによる事業性の評価 ※平時・災害時のドローン配送を実施・検証</p>	<p>▲【実証期～実装期】 各分野別のサービス統合による全体最適化 ※システムのプレ運用、プレサービス開始、実装時の体制検討</p>	<p><b>本格実装開始</b></p>

最終年度中に大滝地域での社会実装が完了。横展開の検証を開始する。



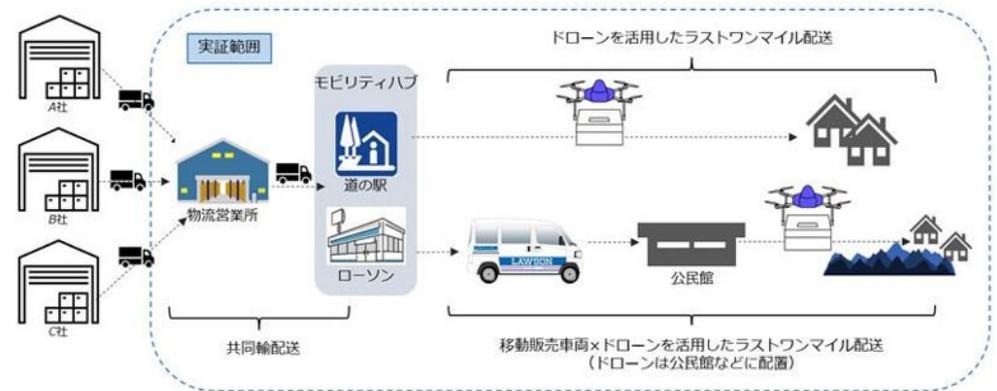
# おむす便事業の発展へ

- ・令和6年度環境省の「運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業」において、佐川急便(株)、KDDI(株)が、秩父地域をフィールドとして、事業採択を受けた。
- ・モビリティハブで実現する共同配送とドローン活用による CO2 削減事業を展開中
- ・おむす便の事業の展開を検討

## 令和6年度運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業採択案件一覧

代表事業者	実証事業名
佐川急便株式会社	「地域配送ネットワーク」プラットフォーム構築（ドローン・共同配送を活用したスマート物流）
KDDI 株式会社 →R7.2.12 メディア公開	モビリティハブで実現する共同配送とドローン活用による CO2 削減

## KDDI実証イメージ



<本実証のイメージ>

# 今後の展望：ドローンを軸に、秩父市は様々な先端技術の取組みを推進！



## ①アーリーハーベストプロジェクト推進

### 自動運転やAIの社会実装を加速：「点から線・面へ」「実証から実装へ」 デジタルライフライン全国総合整備計画の概要

- 人口減少が進むなかでもデジタルによる恩恵を全国津々浦々に行き渡らせるため、約10年のデジタルライフライン全国総合整備計画を策定
- デジタル完結の原則に則り、官民で集中的に大規模な投資を行い、共通の仕様と規格に準拠したハード・ソフト・ルールのデジタルライフラインを整備することで、自動運転やAIのイノベーションを急ぎ社会実装し、人手不足などの社会課題を解決してデジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成に貢献する  
※国土形成計画との緊密な連携を図る



## ②コンソーシアム設立



先行地域選定をきっかけに地域課題の解決とサービスの社会実装に向けた検討を行う場として、自治体や民間事業者と連携した「秩父市ドローン社会実装コンソーシアム」を設立

デジタルによる社会課題解決・産業発展			アーリーハーベストプロジェクト		
人手不足解消による生活必需サービスや機能の維持			2024年度からの実装に向けた支援策		
人流クライシス 中山間地域では移動が困難に…	物流クライシス ドライバー不足で配送が困難に…	災害激甚化 災害への対応に時間を要する…	ドローン航路 180km以上 【送電線】埼玉県秩父地域【河川】静岡県浜松市(天竜川※)	自動運転サービス支援道 100km以上 【高速道路】新東名高速道駿河湾沼津SA～浜松SA間【一般道】茨城県日立市(大夏駅周辺)	インフラ管理のDX 200km <sup>2</sup> 以上 埼玉県 さいたま市 東京都 八王子市
デジタルライフラインの整備			中長期的な社会実装計画		
ハード・ソフト・ルールのインフラを整備			官民による社会実装に向けた約10カ年の計画を策定		
ハード ✓ 通信インフラ ✓ 情報処理基盤等(スマートたこ足) ✓ モビリティ・ハブ(ターミナル2.0、コミュニティセンター2.0)等	ソフト ✓ 3D地図 ✓ データ連携システム(ウラノス・エコシステム等) ✓ 共通データモデル・識別子(空間ID等) ✓ ソフトウェア開発キット等	ルール ✓ 公益デジタルプラットフォーム運営事業者の認定制度 ✓ データ連携システム利用のモデル規約 ✓ アジャイルガバナンス(AI時代の事故責任論)等			
			<b>先行地域(線・面)</b> 国の関連事業の ① 集中的な <b>優先採択</b> ② 長期の <b>継続支援</b> ③ 共通の <b>仕様と規格</b>		

## ③空飛ぶクルマの実証フィールド



eVTOL (空飛ぶクルマ) COPYRIGHT © JAPAN AIRLINES. ALL RIGHTS RESERVED.

令和6年3月28日開催「デジタルライフライン全国総合整備実現会議」資料から抜粋





## ご清聴ありがとうございました。

### 【お問い合わせ】

埼玉県秩父市

産業観光部 先端技術推進課

〒368-8686

埼玉県秩父市熊木町8番15号（市役所歴史文化伝承館3階）

電話番号：0494-21-5522（直通）

FAX番号：0494-25-0136

メールアドレス：sentan@city.chichibu.lg.jp

URL：https://hospital.city.chichibu.lg.jp/10493.html

